

## 令和5年度学校監査における意見・要望事項について（報告）

令和5年度の学校監査においては、令和5年9月29日及び10月4日の2日間にわたり、小学校3校、中学校1校、義務教育学校2校の監査を実施し、校長、教頭をはじめ担当者から詳細な説明を受けた。その結果、学校配当予算の執行及び施設等の管理はおおむね適正に行われているものと認められた。

なお、監査の結果に関する報告を決定するにあたり、次の事項については教育委員会への意見・要望とする。また、本年度監査対象校以外の学校も含めて各校に周知されたい。

### 1. 効果的な予算の配分と適正な予算執行について

令和4年度に各学校に配当された学校管理費のうち、一部の学校で報償費及び食糧費において執行率が低調となったものが見られた。新型コロナウイルス感染症の影響で行事を縮小したなどの事情は理解できるが、予算配当にあたっては、各学校の予算要求に基づき前年実績等も十分に勘案し、その枠内においてできる限り効果的な配分に努められたい。また各学校においても、予算要求時に関係職員的意思疎通のもとで綿密な積算を行い、配当された予算額については計画的かつ適正に執行するよう留意されたい。

### 2. 施設管理について

一部の学校で床に段差が生じてつまずきやすい状態になっている箇所が見られ、また、技術室が将来的な大規模改修を控えているとの理由で雨漏りに応急処置で対応しているのみで、児童生徒に対するリスクが完全には払拭されていない状態のままとされていた。修繕を計画的に行っているとの事情は理解できるが、いずれも現在使用されているのであれば、適宜修繕を検討されたい。

さらに、各学校の照明について、学校環境衛生基準に準拠する照度は維持されているものと思料するが、一部において図書室などの照明が体感として暗く感じられた。児童生徒の学習環境に直接影響を及ぼす施設については可及的速やかにLED照明への交換を行うなど、常に良好な学習環境を維持するよう努められたい。

### 3. 図書室の管理運営について

各学校では学校図書館司書が中心となり、人気のある本のランキング形式での展示や「しおりコンテスト」を開催するなど児童生徒の読書習慣を維持し意欲を高める取り組みがなされていることが確認できた。特に有益な事例については情報共有し導入するなど、今後も図書室の運営の充実について尽力されたい。

なお、司書の配置について各学校間で差異が見られた。司書が常駐し、毎日図書室の利用が可能な学校がある一方で、司書勤務日のみ図書室の利用が可能で、司書が不在の際は図書室の利用はできないという学校もあった。未来を担う児童生徒の学習意欲等に直結することから、学校間での図書室利用の差異の解消に向けて、司書の配置の拡大について検討されたい。

#### 4. 特色ある学校づくり事業（ドリームスクール・ジャンプ21）について

コロナ禍において各学校で可能な限り従来の活動内容に水準を戻すべく事業を進める中で、依然として地域の方々との連携面で制限が見られるものの、実施計画に沿って意欲的に取り組んでいるものと思料する。特に本事業の主要なメニューの一つであるキャリア教育においては、感染拡大防止の観点から今日でも現場での職業体験の実施が困難な状況にあるが、今年度は義務教育学校で地域の店舗や事業所に訪問し職業体験するなど実施に至り、他校においても対面開催での事業の開催の際に併せてキャリア形成として職業人講演を実施するなど、継続して学びの機会が確保されている。コロナ禍において本事業の実施に向けて関係各位が熱心に取り組み、また、アフターコロナに対応していこうとする姿勢は高く評価できるものと思料する。

については、アフターコロナに対応するための事業実施内容の多様化に伴う教職員の負担増の実態も含め、運営上の様々な課題を把握したうえで、引き続き効果的な事業のあり方を研究されたい。